

(特非) 生ごみリサイクル全国ネットワーク

通気式生ごみ保管容器「生ごみカラット」 を使用した地球温暖化対策

活動地域



課題

生ごみからの水分除去について自治体とタイアップして広める、また、半乾燥生ごみの有効活用法として、堆肥をつくり有効性を確認する。

目標

タイアップ候補自治体を把握するとともに、PR動画を作成する。半乾燥生ごみから数種類の堆肥を作成し有効活用するための方法を検討。



今後の展望

竹の粉は水分調整と堆肥化時の空隙の確保に有効であったため、重力により水分が最も高くなる最下層にやや厚めに竹の粉を敷くと、悪臭抑制にさらに効果的であると考えられる。食べ残しも堆肥化可能である。

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

生ごみからの
水分除去の動画作成

1本

半乾燥生ごみの堆肥を
使った調査

1回

今年度計画の達成度

80%

目標達成度

60%

活動内容と成果

紙芝居形式のYouTube動画を作成。また栽培実験では、野菜屑のみ、野菜屑+動物性残渣、調理・調味後の食べ残しの3試験区を設け、生ごみカラットを用いて、竹粉を生ごみの間に入れ、それぞれの材料を半乾燥。容積が小さく堆積当たりの放熱が大きいことを抑制するために発泡スチロールを活用。途中1週間に1回程度切り返しを行い、堆肥化を実施。堆肥化中は悪臭はどの試験区もほとんど発生しなかった。堆肥化物は、土壤のpHを調整後、混和し、コマツナ栽培試験に供試した。栽培試験結果、食べ残し区が最も生育が良好であった。



苦労した点と工夫した点

苦労した点

カラットでの水切りの際、最下層に竹の粉を入れていなかったため、一番下の層のみが水分過多になったこと。

工夫した点

家庭系では少量での堆肥化が実施されるため、放熱が大きい。これを抑えるために、生ごみの堆肥化は発泡スチロールで実施した。



〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町3-1-5
電話 : 03-3483-3761
E-mail : info@namagomi-rz.sakura.ne.jp
HP : http://www.namagomi-rz.sakura.ne.jp/